



2021.2.14 堅信式

『歓喜しなさい』

助任司祭 グエン タン ヒ

四旬節において、回心と悔い改めに尽きる時だけではなく、主のご復活に先立って、その光を迎え入れる時でもあり、すべての民が集い、「歓喜しなさい」という喜びの時でもあります。私たちの教会の典礼は長い歴史を得て、その分の豊かな伝統と多様な文化が濃縮されたものです。典礼祭儀（ミサ）を深く味わえるように、司祭の祭服、朗読台掛布や祭壇布の彩色は季節に定められています。今日（四旬節第四主日）は司祭がバラ色の祭服を身に纏っているのは典礼に沿っての喜びの意味を表しているのです。

四旬節中に用いる紫が回心や悔い改めを表すのに対して、待降節の紫は救い主の誕生への期待を込めて神に心を向け、静かに主の降誕を待ち望む心を表しています。これは、年に二日だけ四旬節第四主日（レターレの主日）と待降節第三主日（ガウデーテの主日）に喜びを表わすバラ色の祭服を用いることができます。レターレ (Laetare Sunday) とは「歓喜しなさい」（イザヤ 66・11）という意味で、償いの時期を少し弱め、荘厳なときの喜びが近づいていることを示します。また、ガウデーテ (Gaudete Sunday) とは「喜びなさい」（フィリピ 4・4・5）という意味で、イエスの降誕が近づいていることを準備する喜びの日を示します。こうして司祭服を見る時は、四旬節或いは待降節が半分以上過ぎていくという時のしるしを意味し、もうすぐ、世の光が闇を差し破り、喜びの時が現れます。

復活節を迎える時はちょうど桜が満開の季節ともなるでしょう。学校では卒業と入学、会社では入社と転任、社会では往々しく忙しい時期でもあるでしょう。私たち、神言修道会においても異動の時になります。主のご復活後に新潟教区に属する大館教会（秋田県）に移動します。2019年3月23日に南山教会で司祭叙階を受け、二年間に渡り南山教会の助任司祭として皆様と共に信仰生活を歩んで来られたことに感謝します。時間を惜しまず、教会に献身的に奉仕してください。皆さんの姿から多くのことを学び、自分の信仰を成長させる糧となりました。主に遣わされる多くの方々の恩を忘れず、皆様の健康と平安をお祈りします。これからも、お祈りと応援のほどよろしくお願ひします。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時（ミサ後、聖体礼拝）
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

堅信式感想文

ラファエラ・アシジのフランチェスカ

水野 真理子

2月14日の主日に堅信の秘跡に与ることができました。ありがとうございます。

2年前カトリック看護協会主催の松浦司教様との集いで、神はただ一緒にいてくださるというお話に得心がいきました。今回も司教様の素晴らしいお話が聴けて流石と思いました。パウロ司教様が知識と信仰は違うと仰せられますように、聖書以外にも、お祈り、使徒信条、ニケア・コンスタンチノープル信条、御ミサで信仰を大事に深めて参りたいです。

洗礼名は社長と考え、代母様、他、相談して決めましたが、堅信名は畏れ多いお名前ですがアシジのフランチェスカを付けさせて頂きました。新婚旅行でアシジのサン・フランチェスコ聖堂を訪れました。久しぶりに新婚旅行の写真を見ましたら聖堂の前で記念写真が撮ってありました。聖堂には日本人の神父様がおられました。インターネットの普及していない時代でしたが、今調べてみますと日本から派遣されているのか記述が見られます。その後1997年に大地震があったことを知ったのは、その10年後くらいにテレビの

バラエティ番組でバラバラになった壁画のかけらを集めて壁画を元通りに完成させたと紹介されたのを見た時でした。とても驚きました。あの時タガワさんと言われた日本人の神父様はどうされたかと思いました。

またアシジの聖フランチェスコの記念日が自分の誕生日と同じであると知り、神の思し召しかと思いました。

堅信式はバレンタインデーでした。ペルージャの名物のバーチのチョコは思い出深いです。フランチェスコの清貧を重んじつつ、バーチの新しいルビーカカオも食べてみたいと思います。

司教様、司祭様、神父様方、代母様、皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

フランシスカ 齋藤 恵子

洗礼から十年近く経ての堅信。

南山教会にご縁を頂き、テニス繋がりからシューベルト神父様、先輩信者さんとお会い、私が教会の方々に沢山の支えを頂き成長出来た事は全てがご導き、日々時間に追われ過ぎ私に神の信仰の学びを人を通じて与えて下さった神さまに感謝し、また皆様へ感謝申し上げます。堅信をと考えていると毎年都合が合わず今年も無理か

と…。と突然門が開いたように家族の用意も仕事も無い堅信式迄の期間が訪れました。神様が今ですよ！とおっしゃったかのように勉強会に参加。その期間も私は本当に神様に認めて頂けるのかと悩み考えましたが、今考えたとそれこそが神様が私に与えて下さった大切な時、洗礼からの道のりも、「魂に従い共に進みなさい」と言う神様のメッセージを受け取る為の経過だったのだと堅信を受け気づきました。

最後に、洗礼から見守って、霊名を下さったSr.ヴィクティマ河原に感謝。

パウロ 安藤 渉

洗礼を受け5年。当初より、洗礼が自分にどのような意味を持つのか納得してから堅信をうけようと思っていました。

勉強会で「あなたにとって、祈りとはどのような意味を持ちますか。」との質問に、「存在の源である神に祈る事。それは、今、ここに、自分が存在していることを意識する事。人は弱い。神を意識していないと、自分を見失い、悪

に走り、破滅的な人生を送る。神を意識して、自分の存在を自分で捉え、自分の人生を自分で生き

ました。自分の存在を感じる事が出来なければ他人の存在を感じられませんが、他人の事情や気持ち想像できず、周囲に不安と混乱をもたらします。

人は、みな違います。人は、みな独りです。共に生きてくれるのは神のみです。人は、神と繋がることで、神を介し、ひとつに繋がります。この意識を常に持ち、生きていきます。

マリア・ラファエラ 神谷 恭子

堅信のお恵みを松浦司教様より授かることができました。司教様はじめ、パウロ神父様、支えて下さった皆様、有り難うございます。

“いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。(テサロニケ5・16、18) ”

堅信の準備期間に、先輩信者さんから教えてもらった聖書の言葉です。

堅信式直前にも、立て続けに、感謝すること”の助言を受けました。

祈りについては、“祈ることが神を感じる道”と知りました。マザーテレサでさえ、自分は弱く、自分に頼ることが出来ないの

四六時中神に頼っている(祈っている)、と。

私自身、もつと喜び、祈り、感謝出来るようにと祈りたいと思います。

2月12日(金)のシューベルト神父様、追悼ミサでのヒ神父様のお説教の中で、「シューベルト神父様は人の悪口を言われなかつた。悪いことをしても、神父様は、その人も神の子であることを信じていた。」と。そのお話を聞き、私もそのように見られるようにと祈らないではいられません。

神への信頼、イエス様への信頼を深め、頼りない自分、至らない自分をもつと神にゆだねていけたら、と思います。そして、福音を伝えていけたら、と思います。最後に。

“神は仰せになる。”

「わたしの思いは災いではなく、あなたがたに平和を与えることである。わたしは願ひ、祈り求めるなら、わたしはそれを聞き入れる。」(エレミヤ29:11-12)

主の平和がありますように。

アガタ 齋藤 立字

私は二〇一九年4月に受洗したのですが、私のナマケグセと家族の世話等で堅信はいつの事やらという思いでした。が、洗礼に向け

て聖書の勉強を担当して下さったシューベルト神父様がお亡くなりになったり、代母の方の体調不良、私自身の転倒による骨折で、

今堅信の儀をしておかないと人生を終える迄迷いの中に居る状態を終末を迎えるのではないかと思

い、コロナ禍での式に参加させていただく事になりました。覚悟のほどはと尋ねられたらつい「まだまだ迷いの中です。」と答えてしま

う私ですが、2月14日という寒さまつ只中なのに松浦司教様のお導きでお聖堂の中に暖かい愛が満ちてくるのを感じ、「今日の目を

選んで真に良かった。」と思いは日本人にも難解な日本語をスラスラとお読み下さり、日々勉強の努力をされていらつしやるのではと思ひ私のナマケグセを反省する所でした。皆様との出会いも大切にしていければ。

マーガレット ポーペフ マヨ

今回堅信を受けられたことがとてもうれしいです。コロナウイルスが流行っている中、勉強会や中高生会を行っていただけたことにとても感謝しています。

勉強会では、コロナで少しなくなつてしまいましたが、約4ヶ月間毎週私たちのためにキリストに

ついて色々教えてくれた神父様やシスターたちにも感謝の気持ちでいっぱいです。

中高生会では、クリスマスの時に行つた、手話などがとても思い出に残っています。

あまり大きなイベントなどができない中、私たちに少しでも多くのことを教えようとしてくれて本当にありがとうございます。これからミサに通つて神に感謝の気持ちを持って、いこうと思いま

アンナ 村井 ひな

私は、中学一年生になって、堅信を受けるかどうかの決断をせまられたとき、とても迷つていました。なぜなら、今まで幼児洗霊を受け、毎週教会に連れていつてもらい、ほとんどの事を大人に決め

てもらっていたために、一生信者として生きていくかを自分自身で決める初めて岐路だったからで

す。しかし、友達や教会学校のリーダー達のすすめで、堅信の勉強会に参加することにしました。睡眠と戦いながら受けた勉強会もありましたが、それらを通して、また堅信を受けた事によつて分

かったことがあります。それは、「信者として生きる」ということの意味です。今まで私は何かを選

んだり、判断したりしなくてはいけなくなつたとき、自分のルールを自分で作つて、決断してしました。しかし、これからはそうではなく、神様の子どもとして、信者として、ふさわしい行動は何なのか、神様が望まれている行動は何なのかを基準に考えて行動できるように、(今はできないかもしれませんが)なりたいたいです。

「はい」パウラ 櫻木 佳代

十 「はい」

イエス・キリストに従い、福音の精神をもって生きていく上で、多くの困難、誘惑、さまざま悪が存在します。

その誘惑と戦い、悪を退け、日々の生活の中で、勇気をもって、不正に立ち向かう決意を持っています。

松浦悟郎 司教様

父のたまもの、額に十字架のしるしをありがとうございます。

パウロ 神父様

伴 神父様

ヒ 神父様

マーティン 神父様

毎日のお祈りに、賛美と感謝をささげます。

共同体の代母秋元様、ともにいてくださりありがとうございます。祈。

ネットワークミーティング イン新潟

名古屋教区青年委員会所属
南山教会 松浦友助

2020年9月20日に南山教会から発信してオンラインでネットワークミーティングというイベントを行いました。

ネットワークミーティングとは、日本全国から青年が集まって

お祈りをしたり分かち合いをしたり、交流したりします。年2回開催されており、全国各地に青年が集まっていますが、コロナの影響で集まる事ができなくなりました。

そこで、オンラインを活用した形に変更する事になりました。

当日は40人強の参加者が集まりました。名古屋教区の松浦司教様や新潟教区の成井司教様をお迎えして全国とつなぎ、濃密な時間を過ごしました。班に分かれて新潟クイズを行ったり、司教様に質問したり、最後には松浦司教様司式のミサに預かりました。

初のオンライン開催ということで機器のトラブルも起こりましたが、南山教会の方々に支えていただいていた無事に最後まで終えることができました。

全国の青年たちは今、教会にも行けない場合が多く、どのように

神様や教会に向き合っていけばいいのか悩みながら過ごしています。是非とも信徒の皆様の祈りと支えが必要です。よろしくお願ひいたします。

神のいつくしみの主日前の9日間 (聖金曜日4月2日〜4月10日) のノヴェナについて

今まで神のいつくしみの祈りの会(南山教会有志)の主催により行なわれていました。

主任司祭のお考えにより、今年から教会の行事として行う事になりました。

1日目4月2日(金)15時十字架の道行後、2日目4月3日(土)から9日目4月10日(土)までは5時から。

最終日4月10日(土)はパウロ神父様の講話(神のいつくしみについて)があります。

場所は全て大聖堂。(典礼委員会)

典礼一口メモ 香部屋の窓から 第38回 「ともに祈る」お話し 典礼委員長 新内飛鳥

私たちは一人一人が神とともに生きていてそれぞれが生活の中で祈っています。そして日々教会に集まりミサとともにささげます。日曜日を特に「主日」としてより

多くの人が集まり平日よりも更に厳かにミサを捧げます。ミサをはじめとして私たちに「ともに祈る」機会があります。司祭に導かれて共に「主の祈り」をささげるなごを思い浮かべてください。皆の心が一つになり声をそろえて奉げられる祈りは本当に美しい賛美になります。今回のお話ではそんな風に「ともに祈る」時の心がけについて分かち合いたいと思います。私が求道者だったころに導いてくださった故ヨハネ・リユータス師に教えられて以来心がけています。これは歌う時にも通じていることだと思います。『一緒に祈る時には右の人と左の人の間で祈りなさい』という言葉です。「？」って思いませんか？これは師が教えてくれたことを要約したものです。もう少し丁寧にお話しすると、右の人と左の人の間、祈りの速度や声の大きさを言います。大勢が祈る時には大きな声で祈る人もいます。誰にも負けない大きな声で祈る人や、こす。そうすることで一つになるという言葉は少し引つかかるかもしれませんが「癖の強い節回し」で祈る人もいます。これは方言や訛り、イントネーションとは別の話です。例えば芝居がかつていたり、聖書朗読で感情をこめて読むことに似ています。個別に祈る時にはそれぞれの感情や思いを込めることで祈りが深まることもあると思います。姿勢やしぐさについても同じことです。私たちが教会に集まりともに祈る時には行動的一致が、その賛美と感謝をより美しく表現できるといわれています。ある人が手を合わせて、ある人が両手を広げて、ある人は跪いていたり姿勢や仕草が思い違いだとかバラバラな気がしてしまいます。そういうルールで集まる信心グループごとの自由だと思いません。しかし教会で公に集まる場では、空気が違うと理解した方がよいと思います。右の人が少し早く祈っていて左の人がゆっくりであるならば私はその中間の速度を心がけます。バランスを取るように努めます。声の大きな人に負けない大きな声で祈って大きな声コンテストにしてしまうのではなく、小さな人と大きな声の人の中間ぐらいの声で祈るように心がけま

のでしようが、歌が苦手な人が賛美のために頑張つて歌っているとするれば、それは美しいことだと思えます。無い中から奉げる献金のような行為だと思えます。そういった人を置いてきぼりにして上手に歌うことを目標にするよりは、聖歌隊が上手に歌っていて歌が苦手な人が頑張つて歌っているならば、その間を取るように歌えたらいいなあって思います。「本当に上手に歌える人はそういう人だ」とリ्यूータス神父は教えてくれました。そういう意味で歌が上手くなりたいなあって思います。あ、でもこれは専門性を否定する話ではありませんから、そのあたりは聞き流してくださいね。

第9回運営委員会

3月7日

◎司祭団より

・ 慈しみの会が実施していた「いつくしみのノヴェナ」を教会の行事として開催する事になりました。聖金曜日の15時より始め、復活の第2（慈しみの）主日までの9日間 毎日15時から20分程行いま

す。内容は聖体礼拝、講話、許しの秘跡、慈しみのチャプレット（祈りの花束）です。

・ 3月13日（土）16時よりボクダン神父様による四旬節の講話があり、その後ミサが行われます。

・ 13日と14日は各ミサの前後にゆるしの秘跡が行なわれます。告解部屋で行われますが、扉は閉め

ず、部屋のまわりも告解が聞こえないようにスペースを確保します。平日でもゆるしの秘跡は受け

付けますので、神父様にお知らせください。四旬節に是非ゆるしの秘跡を受けて下さい。

◎報告・連絡事項

今年度をふりかえって

・ 新型コロナウイルス感染症対策に終始する一年であったと思えます。教会行事は8割が中止になりました。来年度もこの状態が続く

のではないかと思いますので、対策を継続すると同時に、各行事の意向を保ち、その方法を変えて行く

ことが必要であると感じていきます。

・ 教会学校は緊急事態宣言時以外

で初聖体や七五三などを実施することができませんでした。来年度も工夫を凝らしながら色々で行えるようにしていきたいです。

・ 広報委員会はコロナ禍においても月報の発行をすることができま

した。ホームページの移行について現在試行錯誤しています。

・ 中高生会はあまり活動できませんでしたが、クリスマスの方に手

話の会の方と一緒に手話のビデオを撮り、聖霊会のシスターに送り

ました。

・ 英語ミサは、神父様が8月に帰

天されました。現在はパウロ神父様にご協力をいただいています。

・ 典礼奉仕者の会は、11時のミサが追加されましたが皆様のご協

力により開催できています。ありがとうございます。

・ 要約筆記の会はメンバーが増え

・ マリア会は、1年間何もできずでした。だれもコロナに感染することなく1年を過ごせたことに感謝いたします。連絡が沢山ありま

したが、ご協力をいただきありがとうございます。

・ 宣教司牧評議会では、ブロック会議

がありました。3月11日に各教会

で東日本大震災 追悼ミサが行われ

ます。

・ 手話の会では、中高生会と一緒

にすることができました。来年度

は今年目標だった手話を行いました

・ オルガン管理委員会では、パイ

プオルガンの使用件数については

井の雨漏りがあつて扇風機を回

しっぱなしにしたり、鍵盤の不具

合修正などを乗り越えて使うこと

ができました。異常気象や窓の開

け南山教会でブロック会議を開催

できました。次年度は南山教会が代表教会となっております。

・泉さん(オプザーバー)・・・コロナ禍の中の皆さんの御働き、お疲れ様でございます。次年度に向けてもよろしくお願いいたします。

・典礼委員会からとして、パウロ神父様が着任された当時はコロナがひどい時でしたが、パウロ神父様は色々早く受け入れて下さり、運営委員会としても密接になれたと感じています。心残りとしては恒例の「新しい主任司祭を迎えるミサ」をもつてお迎えできなかったことがあります。コロナが落ち着いたら、これに代わる何らかの形で私たちの歓迎の意を表現できればと考えています。併せてのお話として名古屋教区の典礼委員会ですが突然典礼委員長を失ったことに始まりコロナ禍に突入し活動が停止したままです。コロナの状況が落ち着き、後任の委員長が任命されれば典礼研修会なども再開していきたいです。

・神戸さん・・・一年間皆さんからのご意見まとめなど運営委員会の議長として右往左往していました。

・ヨセフ会は運営委員会の指示に従って動いていました。11時のミサが増えたことによる動員が増え、これからも色々あると思います。コロナが落ち着いていけば色々な行事を行いたいです。

・パウロ神父様・・・毎週土曜日の聖体礼拝が始まり、皆さんのお祈りする姿を見てとてもうれしく思います。皆さまのご協力があればあるほど、コロナから南山教会は復活します。新築される建物名の有力候補は、家族、子供たちが集う場所を願って「ナザレ館」です。

スト自体に必要性を認められないことから設置は検討していません。再来年に皆様にご相談をしたいと考えています。

・通信設備については、見積が高くなっており引き続き検討中です。

・南山教会で車椅子ステーションとして管理している車いすは従来「台でしたが、先日必要な際に貸出中で使えませんでした。AUJの中で使えませんでした。

古品の斡旋をお願いしたところ「台追加で貸して頂けました。

・パウロ神父様のご協力により、植栽管理などで営繕費用がとて目安くなっています。ありがとうございます。

・丸尾さん・・・営繕委員長を22年3月に3年となりますので、交代を考えておりますのでよろしくお願いたします。

・追加の納骨壇について、来年か

・納骨堂内に合葬納骨壇が3月末に出来上がります。

来年度一粒会の小教区委員選出について

・来年度からマリア会の会長が担当してくださいます。

その他

・オルガン管理委員会が2月27日に開催されました。2020年の3～5月は、コロナ禍で公開ミサがなかったが、その後大聖堂でのミサが増え、パイプオルガン使用件数は2019年が389件、2020年が377件でそれ程差がなかった。梅雨～夏の高温度、冬季の乾燥でオルガンの不具合が例年より多く、修理、部品交換が必要でした。必要な部品についてはオルガン予算で今季も購入していきます。高温度の対策として、扇風機の連続運転が有効でしたので、バルコニーの電源チェックや扇風機へのタイマー取り付けなども

す。

◎審議・相談事項

復活徹夜祭のコロナ対策について

○4月3日復活徹夜祭（19時）… 人員整理で1名必要です。

○4月3日復活徹夜祭（19時）… 次年度運営委員を決めていただく

募集された方の中から150名（通常席134名・聖歌隊席16名）のことに

定員にて、以下の方々の席を確保

した上で抽選を行う。典札奉仕者

9名。洗礼志願者・代父母様・ご

家族等（23名）、不測の事態に対応

するため、医師1名。看護師1

名、写真撮影の為、広報委員会1

名 計およそ35名、抽選人数は1

50名の席から35名を差し引き、

115名の方を抽選で選出する。

○ミサに与れない方の為に配信を

行う。

○ミサの実施について…必要なご

奉仕は、受付3名（マリア会）。

案内係（ヨセフ会）座席係2名・

受付補助1名・計数係1名・総括

1名火起こし係2名（計10名）受

付・案内係の内、聖堂内の席を希

望された方には聖堂内の席を確保

する

※受付はミサ開始30分前より行

い、典礼の都合により5分前には

着席いただく。その後、キャンセ

ル待ちの方に着席していただく。

聖木曜日の聖体訪問についても

人員整理で1名必要です。

・財務委員会より、3月末までに

なるべく清算をしていただきます

よう、よろしくお願いいたします。

・要約筆記の会は、3月27日では

なく3月20日に行われます。27日

は名古屋教区障害者連絡会主催の

障害者の為の黙想会が南山教会を

会場にして行われる予定で、参加

者を予定しています。

・子供部屋…ヒ神父様のこれまで

のご指導に感謝申し上げます。子

供たちに神様の教えをわかり易く

分のミサで人数が多かった場合は

11時のミサに誘導されますが、11

時のミサも多くなった場合、マリ

ア館ホールでもミサが行えるよ

う事が可能かどうか最終確認を

行った上で進めて行く予定です。

委員会が決めます。

・典礼委員会…

・祈りの集いを押切教会で実施し

たが、島袋神父様の異動によ

り、段取りを調整中です。

3月13日（土）、14日（日）四旬節の

黙想会（講話）、共同回心式があり

ます。

黙想指導者はボグダン神父様です（

13日のみ）

3月28日（日）受難の主日（土曜を

含め各ミサで枝の式）

4月1日（木）19時主の晩餐のミサ

4月2日（金）19時主の受難 この

日からノヴェナが始まります（9日

間）

4月3日（土）19時聖なる復活徹夜

祭

4月4日（日）復活の主日 9時30

分のミサで人数が多かった場合は

11時のミサに誘導されますが、11

時のミサも多くなった場合、マリ

ア館ホールでもミサが行えるよ

う事が可能かどうか最終確認を

行った上で進めて行く予定です。

委員会が決めます。

・祈りの集いを押切教会で実施し

たが、島袋神父様の異動によ

り、段取りを調整中です。

・祈りの集いを押切教会で実施し

たが、島袋神父様の異動によ

り、段取りを調整中です。



次回4月11日

南山句会

新型コロナウイルスが
収束するまで休会します。



ヨセフ年にあたり、聖ヨセフの
祈りを紹介致します。

聖ヨセフへの祈り

聖ヨセフよ、
マリアの夫であり、救い主イエ
スの保護者よ、

わたしは信頼をもってあなたに
よりすがり、

霊的物質的な取り次ぎを心から
願います。

生きていくかぎりあなたの徳に
ならい、

死が訪れるときに永遠の喜びに
与れますように、

あなたの助けをこい願います。

アーメン。

信者の消息

転出 いつまでもお元気で

ヨゼフ 伊達 昌郎 (成城教会)
マルガリタ・マリア 林 薫 (神田教会)

帰天 神の栄光にあずかれますように

ベルナデッタ 神戸 洋子 (72歳)
クララ 柳生 聖子 (72歳)



2021年3月・4月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
3月	聖ヨセフの月 19(金)聖ヨセフ 25(木)神のお告げ 28(日)受難の主日	13(土)14(日)共同回心式	7(日)11:00運営委員会 手話通訳付ミサ 12(金)マリア会例会(懇談会) 13(土)典礼委員会 14(日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃 14(日)中高生会卒業式・終業式 (日)教会学校卒業式・終業式 20(土)10:30子ども部屋 20(土)要約筆記付きミサ 21(日)手話通訳付ミサ	5(金)世界祈祷日 11(木)東日本大震災犠 牲者追悼・復興 祈願の日 14(日)城東ブロック会 議 20(土)司祭・修道者金 銀祝の祝い 21(日)司教座聖堂献堂 記念日
4月	4(日)復活の主日 11(日)神のいつくしみの 主日	4(日)日英合同ミサ9:30)	9(金)マリア会例会(懇談会) 10(土)典礼委員会 11(日)運営委員会 11(日)教会学校始業式・初聖体 説明会 11(日)中高生会始業式 17(土)子ども部屋 18(日)ヨセフ会班長会	17(土)レジオマリエ名 古屋クリア 25(日)召命祈願日